

医学科

研修の目的

結核対策上、保健所等において公衆衛生に携わる医師と医療機関において臨床に携わる医師の役割は大変重要です。結核の基礎に加え、各コースの対象に応じて行政・臨床に役立つ最新の知識・技術および情報を提供します。また、各地域の結核対策上の課題および今後の方策について協議を重ねたいと思います。

なお、当所研修は日本結核病学会 結核・抗酸菌症認定医・指導医認定制度の単位取得の対象となっています。

研修コース紹介



研修コース名・開催期間	対象	研修内容
医師・対策コース 第1回: 平成29年 6月27日～30日 第2回: 平成29年 10月10日～13日	保健所等行政 に携わる医師	結核の基礎から結核対策に関する最新の知識を学ぶための、行政医師向けのコースです。結核の感染から発病に至るメカニズム、感染及び発病診断と治療、結核に関する細菌学、胸部X線読影、結核の疫学、接触者健康診断の検討など、保健所や本庁での業務に役立つ内容となっております。行政医師はもちろん、地域の結核対策に携わる臨床医にとっても、日常の診療業務に充分参考になる内容です。 ※第1回、第2回のコースは同じ内容です。
医師・臨床コース 平成29年 11月16日～18日	結核の診断・治療 に携わる医師	結核の診断、治療、抗酸菌検査などの結核の基礎に関する講義のほか、非結核性抗酸菌症の講義や実際に診療された事例を基にした症例検討など、より臨床に即した実践的な研修となります。結核高度専門医療施設である複十字病院呼吸器内科の医師による講義を中心に、結核診療の最新情報を学ぶことができます。
結核対策合同コース 平成30年 1月16日～24日	医師	HIV合併結核の対応を含め、結核対策に関し、より高度な内容の講義と、結核集団発生、外国人結核患者の対応など、事例を基にした他職種と合同のグループワークなどを通じて、結核対策への理解を深めていただくコースです。 また、地域での結核対策の状況に関する発表、結核対策を改善するための活動計画作成などを通して、他職種との意見交換を重視した内容です。自治体で結核対策の中核を担っている医師の更なる技術向上の場となる研修となっております。既に医師・対策コースに参加された方、あるいは同程度の知識と経験のある方を対象としております。

